

御嵩町第五次総合計画前期基本計画（平成28年度～令和2年度）

単位施策ごとの主な取組と課題

方針別基本計画	1	良好な環境を誇りとするまち		
方向性	1-1	みどりや水を守り育てる		
単位施策		主な取組内容	主な課題	評価
1-1-1	里山や生態系の保全	・森林経営信託や企業との協働による森林づくり、森林ボランティア「水土里隊」等により森林整備を進めたほか、児童生徒に対し森林学習を展開した。	・森林経営信託契約が令和3年度で満了するため、新たな展開が必要。 ・森林保全の担い手が限定的であることが課題。 ▲放置竹林の増加	A
1-1-2	水辺環境と農地の保全	・前沢湿地の保全や工事の予定箇所等における希少生物の状況確認を進めた。 ・中間管理機構等を活用し農地の施業集約化を進めた。	・希少生物の保全、農業用ため池の管理、農業者、いずれも担い手が不足している状況が課題。	B
1-1-3	自然とのふれあい・居住	・多様な環境学習を展開し、自然に親しむ場を充実させた。 ・移住交流ポータルサイトを構築し、自然環境や子育て環境、空き家等の情報発信を進めた。	・自然に親しむ場づくりを引き続き充実させることが必要。 ・滞在型農業体験を移住に結びつけるための展開や、周辺市町村と連携した移住促進活動が必要。	B
方向性	1-2	環境にやさしいまちを実現する		
単位施策		主な取組内容	主な課題	評価
1-2-1	環境モデル都市の推進	・御嵩町環境モデル都市行動計画を見直して第二次改訂版を平成31年3月に策定し、同計画に基づく森林の再生や分散型エネルギーへの転換等を進めた。	・森林整備において発生する端材や竹などの有効活用の検討。 ▲SDGsへの展開	A
1-1-2	循環型社会の形成	・南山一般廃棄物処分場の適正管理に努めるとともに、リサイクルステーションや各種講座等を通じて3Rの取組の周知啓発を展開した。	・Reduce(発生抑制)、Recycle(再生利用)が進んだ一方、Reuse(再利用)のシステム構築に課題。 ・不法投棄に対し、抑制するための一層の対策が必要。	A
方針別基本計画	2	笑顔で育ちあうまち		
方向性	2-1	未来を担う人材を育てる		
単位施策		主な取組内容	主な課題	評価
2-1-1	学校での人づくり	・英語教育やICT教育など、特色ある教育を展開した。 ・校種間の交流を深め、児童生徒の滑らかな接続を推進した。 ・地域と連携し農産物の生産等に取り組んだ。	・GIGAスクール構想等社会情勢の急速な変化への対応が課題。 ▲外国語教育やICT教育の必修化による新たな特色の確立 ▲笑顔づくり条例との関連（生きる力を育む、など）	A

2-1-2	青少年の健全育成	・家庭教育学級を通じ、保護者同士の関わりや家族の絆を深める施策を展開した。	・事業の積極的な周知とともに周知方法の検討が必要。	A
2-1-3	ふるさと教育の推進	・「愛の絵手紙」の取組は年々応募数が増え、多くの方に浸透し、豊かな心を育んだ。	▲取組を効果検証し、さらなるブラッシュアップを行い効果的なものにする必要がある ▲御嵩町ならではの内容と結び付け、ふるさと教育との関連を深める必要がある	B

方向性	2-2	学び合いの中から人材を育む
-----	-----	---------------

単位施策		主な取組内容	主な課題	評価
2-2-1	人権の尊重	・講演会等の教育活動や啓発物品の配布等の啓発活動を展開した。	・新型コロナウイルス感染症に伴う感染者患者への偏見等、さまざまな人権問題に対して対応が必要。 ▲庁内連携の強化（担当課複数）	A
2-2-2	男女共同参画の推進	・講演会や啓発活動、寄稿文（毎月）の広報掲載等を展開した。 ・御嵩町第4次男女共同参画プランを令和2年3月に策定（第3次プランの見直し）し、男女共同参画を一層推進することとした。	・子育てなど他分野と結び付けながら事業の展開が必要。 ▲庁内の意識変革	B
2-2-3	生涯学習の推進	・各種公民館講座や成人講座等を展開し、世代間交流、他地域との交流を進めた。 ・自ら取り組み、相互の活発なやりとりが展開されつつある。	・参加者に新規の方が少なく、新たな周知方法及び実施内容の改善が必要。	A
2-2-4	ふるさと教育の推進（再）	・地域子ども教室により地域人材との交流、地域に対する愛着形成のための学習の場を展開した。 ・東濃高校でのキャリア教育など、地元就業を促進する事業を展開した。	・学習の場には多様な担い手が必要であり、その確保が課題。 ▲子どもやその保護者に対する、地元で就業し地元で活躍する意識の一層の醸成	A

方針別基本計画	3	みんなが支えあうまち
---------	---	------------

方向性	3-1	住民自治活動を活発化する
-----	-----	--------------

単位施策		主な取組内容	主な課題	評価
3-1-1	地域自治の強化	・集会施設の整備補助や自治振興報償等に、自治会活動の支援を進めた。 ・防災アカデミーの実施による防災リーダーの養成に努めた。	・自治会未加入者の増加に対し、加入してもらうための手法等について検討が必要。 ・防災リーダーに地域で活躍してもらうための方策の構築が必要。	A
3-1-2	地域防災活動の推進	・防災リーダーを主体とした避難所の運営や訓練を実施するなど、自ら地域を守るための活動を支援した。	・地域が主体となった、防災に関するビジョンや計画づくりへの展開が必要。 ・防災リーダーが不在の自治会もあり、防災意識の地域差を減らすための手法が必要。	B

3-1-3	地域福祉活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の支えあいの体制構築のため、多様な主体による協議体を設置し、活動を展開した。 ・自治会等を活動範囲とする第2層協議体の設立数増加のため、講座等において啓発を展開した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支えあい活動の周知広報の新たな展開が必要。 ・地域での支えあいにあたり、地域ごと固有の課題など地域差があり、課題に応じた展開が必要。 	B
-------	-----------	---	--	---

方向性	3-2	誰もが安心して暮らせるまちにする
-----	-----	------------------

単位施策		主な取組内容	主な課題	評価
3-2-1	地域福祉活動の推進（再）	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の支えあいの体制構築のため、多様な主体による協議体を設置し、活動を展開した。 ・自治会等を活動範囲とする第2層協議体の設立数増加のため、講座等において啓発を展開した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支えあい活動の周知広報の新たな展開が必要。 ・地域での支えあいにあたり、地域ごと固有の課題など地域差があり、課題に応じた展開が必要。 ▲生活困窮に対する支援 	B
3-2-2	子育て支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センター「ぼっぼかん」での各種事業の展開や、病児保育等の多様な保育を進めた。 ・各種相談事業を進め、必要に応じ関係部署で支援会議を行うなど、関係機関の連携を深めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ▲保育園の体制変更（中保育園の指定管理）による円滑な引継ぎ ▲子育て世代包括支援センターによる支援体制の確立 ▲歩いて行ける遊び場（児童公園）の減少（設置遊具の減） 	A
3-2-3	高齢者福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・講座の開催等による認知症サポーターの養成を進めるとともに、「ちょこっと支えあいサポーター」や「げんきボランティア65」など、支えあいの活動による介護予防などを展開した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、介護給付の増加対策のための予防事業の展開が必要。 ・個別の障がい等に応じた包括的支援のための期間相談支援センター設置に向けた調整が必要。 	B
3-2-4	障がい者福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者地域生活支援拠点体制を整備し、生活支援を進めた。 ・障がい者の社会参加に係る費用について、助成事業を展開した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域生活支援拠点は町内事業所がまだ少なく、継続した啓発が必要。 ▲社会参加助成の効果検証 	B

方向性	3-3	暮らしの安全を確保する
-----	-----	-------------

単位施策		主な取組内容	主な課題	評価
3-3-1	地域防災体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・防災アプリを開発し、防災情報の新たな伝達手段を構築した。 ・防災拠点としての新庁舎の建設に向け、各種検討を進めた。 ・防災リーダー等地域防災の担い手養成を進めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災アプリのさらなる周知広報が必要。 ・新庁舎建設に係る各種手続きについて、速やかな実施が必要。 ▲町施設（避難所）の個別施設計画に基づく適正管理 	A
3-3-2	防犯活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全協会等による見守りなど、防犯活動を展開した。 ・LEDの防犯灯設置に対し補助金により支援し、防犯灯のLED化を進めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯活動等の地域の担い手不足への対応が課題。 ▲こども110番の家の充実 	A
3-3-3	青少年の健全育成（再）	<ul style="list-style-type: none"> ・「おSUN歩あるきたい」による登下校の見守り等のほか、あいさつ運動や店舗パトロールなどを展開した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年が自立性や社会性を育む活動への参加促進や社会参加機会の提供などが課題。 	A
3-3-4	交通安全の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や保育園等での交通安全教室や街頭での啓発活動等を通じ、交通安全の推進、交通事故の減少に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全等の地域の担い手不足への対応が課題。 ▲国道、県道管理者と連携した交通安全施設整備 	A

方向性	3-4	町民の健康づくりを支援する		
単位施策		主な取組内容	主な課題	評価
3-4-1	健康づくりの推進	・企業と連携して検診受診の啓発を進めたほか、健康ポイント制度を導入し、健康的な生活習慣の確立と健康増進に関する取り組みを進めた。	・引き続き健診受診者の増加につながる啓発等の取組が必要。	B
3-4-2	保健予防事業の充実	・各種健診や育児相談、妊婦健診の助成など、母子の健やかな成長に資する事業を展開した。	・発達支援に関する取り組みが課題となっており、療育が必要な子に対する療育機関との連携強化が必要。 ▲生まれる前、産みやすい環境などの支援	B
3-4-3	スポーツの振興	・スポーツ少年団等の団体の活動支援や、スポーツ推進委員の育成を進めた。	・B & G海洋センター利用者、スポーツ少年団登録者が減少しており、啓発手法等について新たな展開が必要。	B
3-4-4	食育の推進	・料理教室等を実施したほか、家庭教育学級等親子が集まる事業で野菜料理を試食提供するなど、バランスのとれた食事や朝食の摂取等について啓発を進めた。	・地元農家等と直接的に連携し、地産地消の一層の啓発が必要。	A

方針別基本計画	4	多くの人が行き交うまち		
方向性	4-1	地域資源を生かし、交流の機会を増やす		
単位施策		主な取組内容	主な課題	評価
4-1-1	観光魅力の向上	・特産品「みたけのええもん」の各種販促活動や認定品を増加させるなど、特産品の開発を進めた。 ・特産品開発普及協議会が設立され、特産品の一体的な販促等が進んだ。	・特産品のインターネット販売などによる定期・定量的な販売のための新たな展開が必要。 ▲町や協議会任せにならない特産品の販促	A
4-1-2	おもてなしの充実	・「宿の市」など、おもてなしの心を育む事業の展開のほか、観光案内看板の整備や観光ボランティア「偲歴会」のガイド養成の支援等を展開した。	・滞在型の観光や外国人観光客への対応の強化が必要。 ▲観光客の町内滞在時間を増加させるための施策	A
4-1-3	地域振興イベントの開催	・「よってりゃあみたけ」等定番となったイベントの支援を進めたほか、「御嵩あかでんランド」「福よせ雑」等、新たなイベントも開催された。	・各種組織の自立、自走性をもった運営の確立が課題となっており、有識者から助言や相談を受けられる体制の構築が必要。	A
方向性	4-2	地域の魅力を効果的に発信する		
単位施策		主な取組内容	主な課題	評価
4-2-1	タウンプロモーションの推進	・移住交流ポータルサイトを構築し、自然環境や子育て環境、空き家等、御嵩町で暮らすための一体性のある情報発信を進めた。	・滞在型農業体験を移住に結びつけるための展開や、周辺市町村と連携した移住促進活動が必要。	A

4-2-2	地域情報の発信強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報誌や町HPのほか、facebook等の各種SNSを活用した情報発信を進め、学生によるアプリ開発の支援等を展開した。 ・ 移住交流ポータルサイトを活用した情報発信を進めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ▲統一的手法での情報発信 ▲多様な情報発信ができる人材の育成と町民自ら発信者となる体制の確立 ▲情報受信体制の強化 	A
-------	-----------	--	---	---

方向性	4-3	魅力的な産業創造に挑戦する
-----	-----	---------------

単位施策		主な取組内容	主な課題	評価
4-3-1	将来につながる農林業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 営農法人や森林組合等による施業集約化を進め、生産体制を確保している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 担い手の多くが集約化を実施している団体に限られ、新たな担い手の発掘や育成が課題。 	B
4-3-2	魅力的な商業・サービス業の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ まちづくり会社「一社）てらす」が発足し、まちづくりを担う事業者の発掘、育成に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各団体同士が連携することで新たな事業展開を進めることが必要。 	B
4-3-3	工業団地の整備と企業誘致	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本社機能の移転に対する税法上の優遇措置の実施や平芝工業団地の緑地率緩和等体制を整備した。 ・ 工業用地開発可能性調査（岐阜県）を支援した（開発可能性は低いとの結果だった）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存の工業団地に空きがない状態となっており、別の町有地が整備できないかなど、新たな開発可能性について模索していくことが必要。 	B
4-3-4	起業支援と雇用機会の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・ 起業相談窓口の設置を進めた。 ・ まちづくり会社が行政と地域の事業者をつなぐ中間支援組織としての活動を展開した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 起業相談事例が少なく、周知方法等に展開が必要 ▲新型コロナウイルス感染症の影響による各企業の雇用縮小（見込み）への対策 ▲新事業に対する支援 	B

方針別基本計画	5	暮らしてみたくなるまち
---------	---	-------------

方向性	5-1	暮らしの安全・安心を支える
-----	-----	---------------

単位施策		主な取組内容	主な課題	評価
5-1-1	亜炭鉱廃坑対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「南海トラフ巨大地震亜炭鉱跡防災モデル事業」（H26-H28）及び「南海トラフ巨大地震亜炭鉱跡防災対策事業」（H29-）により防災工事を進めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の継続に当たり国や県への支援の働きかけが必要。 ▲亜炭鉱に対するマイナスイメージの払拭 	A
5-1-2	治山治水対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 岐阜県への事業実施要望や実施へ向けて支援等を実施し、治山工事を進めた。 ・ 井尻川や前沢川など、水害防止のための河川改修を進めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 治山治水事業は毎年進捗が見られるが、継続して対策が推進できるよう岐阜県への働きかけや事業用地の確保等を確実に進めていくことが必要。 	B
5-1-3	消防・救急体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防団の合同訓練や地域との訓練実施など、団体間の連携強化を進めた。 ・ 多くの方が救命救急を実施できるよう救命救急講習を展開した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き町民の防災意識を高め、地域で第一次の消防・救急を行えるよう体制を整えていくことが必要。 ・ 消防団員の不足が課題。 ▲救急体制の充実 	A

5-1-4	信頼できる医療体制の確立	・ 可児市や可児医師会、可児歯科医師会等と連携し救命救急センターや休診日の医療体制の確保と周知を進めた。	・ 各種検診について広域的な実施が一部に限られているため、広域的な実施の検討が必要。	A
-------	--------------	--	--	---

方向性	5-2	まちの個性と地域文化の創造
-----	-----	---------------

単位施策		主な取組内容	主な課題	評価
5-2-1	景観の保全	・ 森林法や農地法に基づく法規制や、太陽光発電設備の設置について条例により届出義務を付すなどの景観対策を展開した。 ・ 森林ボランティアの活動について支援を実施した。	・ 森林や農地を守る担い手が限定的で、担い手の高齢化が進むなど、担い手不足が課題。 ・ 太陽光発電設備への転用が散見され”みどりの景観”が損なわれる恐れがある。	B
5-2-2	歴史文化の保全と継承	・ 中山道保存活用計画に基づき、中山道沿いの竹林などの整備を地元自治会と協力して進めた。 ・ 願興寺本堂修理について、H29からの継続事業として支援している。	・ 願興寺や中山道だけでなく、町内のさまざまな文化遺産の保存、伝承、活用の検討が必要。	A
5-2-3	地域文化の創造	・ 中山道みたけ館、竹屋資料館等において各種講座や企画展などを実施し、地域文化の創造に繋がる事業を展開した。	・ 企画展の内容など魅力的な施設運営を継続的な実施が必要。 ▲住民団体による新しい文化活動へのつなぎ	B

方向性	5-3	まちの特性にあわせた都市基盤を整備する
-----	-----	---------------------

単位施策		主な取組内容	主な課題	評価
5-3-1	公共交通の利便促進と体系の見直し	・ 企画きつぷや補助制度などにより名鉄広見線の利用促進を展開した。 ・ 各種イベントにおいて電車利用を促すほか、SNSにより積極的な周知広報を展開した。	・ 名鉄広見線の利用促進は継続的に行っていくことが必要。 ▲バス・自転車との連携強化 ▲住民ニーズに合わせた網形成化	A
5-3-2	道路の整備と維持管理	・ 計画的に道路の補修やトンネル・橋梁の修繕や点検を実施し、安全性の向上に努めている。	・ 主要道路の改良整備については、継続的な働きかけが必要。 ▲道路整備に関して、満足率は低下	A
5-3-3	上下水道の整備と維持管理	・ 配水管の耐震化や老朽管の改築等、安心、安全な水環境を整備するための事業を展開した。	・ 配水管の耐震化、老朽管の改築等は計画的に事業を継続していくことが必要。 ▲下水道の整備計画の変更について、縮小となった対象箇所への対応の検討	A
5-3-4	地域環境の美化促進	・ 不法投棄パトロールなどの美化活動や、空き家の適正管理の促進、また、空き家バンク制度を展開した。 ・ 空き家の家財道具撤去に対し補助制度を創設した。	・ 危険な空き家の発生抑制や自主的な解体に繋げるための対策の推進が引き続き必要。 ▲野焼きへの対策	B
5-3-5	都市公園等の維持管理	・ 南山公園を憩いの場として確実な維持管理を進めた。	・ 南山公園の遊具の計画的な更新等、継続した管理が必要。 ▲身近な公園が減少（児童公園の荒廃）	B